



もりみずカップ少年サッカー大会



開会式での選手宣誓

おおの 議会だより

No.181 平成25年7月25日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町 1-1

Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

主な内容

市庁舎整備工事請負契約、休日急患診療所整備工事請負契約を可決

2 ページ

7議員が市政を問う(一般質問)

3~6 ページ

各議員の表決結果、政府関係機関へ意見書を提出

7 ページ

婚活カステップアップセミナー事業をビジネスチャンスに(常任委員会審査Q&A)

8 ページ

公共施設の再編は関係団体や利用者等の意見も拝聴して(常任委員会報告)

9 ページ

特別委員会報告、中部縦貫自動車道の整備促進を要望

10 ページ

委員会視察レポート

11 ページ

6月定例市議会概要

第384回定例市議会は、6月3日から6月20日までの18日間の会期で開催されました。今回の定例会では、平成25年度の一般会計補正予算案、条例の制定、工事請負契約の締結などの全10議案のほか、請願1件、陳情3件、そして市会案2件について審議しました。審議結果は、7ページのとおりです。

市庁舎整備工事・

休日急患診療所整備工事請負契約を可決

定例会初日に、新庁舎整備に関する2件の工事請負契約と休日急患診療所の機能強化工事請負契約の締結議案を審議し、いずれも可決されました。それぞれの契約概要は次のとおりです。

▼大野市庁舎整備工事(その1)

契約金額 17億2220万円
 契約の相手方 大野建設工業・長崎組・中保屋電気商会・山二工業大野市庁舎整備工事その1共同企業体

▼大野市庁舎整備工事(その2)

契約金額 2億2226万円
 契約の相手方 三光産業(株)・横田建設(株)・前田電気(株)・九頭竜設備(株)大野市庁舎整備工事その2共同企業体



庁舎建設にかかる現場事務所設置

契約金額 10億9987万5000円
 契約の相手方 大南建設工業株式会社

契約金額 0万円
 契約の相手方 R C 3階建ての改修に係る建築工事一式

契約金額 2億2226万円
 契約の相手方 大野建設工業・長崎組・中保屋電気商会・山二工業大野市庁舎整備工事その1共同企業体

契約金額 0万円
 契約の相手方 R C 3階建ての改修に係る建築工事一式



小水力発電導入に向けた調査費、自転車歩行者専用道路の設計・整備費などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 地域振興基金の積立(平成24年度末現在高5億4966万円)	1億円
★ 地区コミュニティ活動に必要な備品整備に対する助成	350万円
★ 鍬掛、飯降、下舌等の農道舗装に係る経費	4800万円
★ 小水力発電施設導入に必要な概略調査設計費	1380万円
★ (株)結のまち越前おおのが実施する調査事業に対する補助	180万円
★ 真名川河川敷における自転車歩行者専用道路の詳細設計及び整備費	5000万円
★ 市道城北・泉・鍬掛線の整備工事費	7520万円
★ 建築物等修景事業の要望者増に対応する補助金の増額	1300万円

一般会計予算に

3億4190万円を追加

平成25年度一般会計予算に3億4190万円が追加され、予算の累計額が172億2890万円になりました。前年度6月補正後と比較すると1・0割の減です。なお、主な補正の内容は次のとおりです。

その他の議案

▼大野市一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例
 国家公務員の給与の改定等の趣旨を踏まえ、平成25年7月から26年3月まで一般職の給与月額を平均で2・6割削減するなどの条例が可決されました。

▼平成24年度一般会計補正予算の専決処分を承認
 平成24年度の地方交付税の交付額等の確定などに伴い、専決処分した補正予算を承認しました。

▼国民健康保険税条例の改正の専決処分を承認
 後期高齢者医療制度に加入することにより、同世帯の国保の加入者の保険税が増額とならないように実施している措置の拡大と恒久化を図るなどの条例改正を承認しました。

日本水大賞の受賞を どのように受け止めているのか

受賞に甘んじることなく さらなる地下水保全、湧水文化再生に努める



山崎 利昭 議員

問 このたびの日本水大賞の受賞を市長は、どのように受け止めているのか。

答 今回の受賞は、昭和50年代に地下水の低下による井戸枯れが発生したことで、地下水は限りある資源であることを認識し、行政と市民が一丸となって、地下水の水資源対策や自然環境保護に取り組んできたことにより、徐々に地下水が回復し湧水池が復活した実績や、湧水文化の再生を通じた地域づくりが評価されたものと考えます。今後とも先人から受け継いだ大切な水資源を未来の子どもたちに伝えることができると、国、県などの関係機関や、市民、企業がそれぞれの役割を担いつつ、さらなる地下水保全、湧水文化再生に努力していきたい。

新生おおの

問 中部縦貫道の開通を見据え、本市としてどのような施策で発展するのか。

答 本年2月に策定した「越前おおのブランド戦略」に基づく施策を展開し、中部縦貫自動車道の全線開通時に「結の故郷（ゆいのくに）越前おおの」の本領を發揮できるように、中京圏における本市の魅力や認知度、イメージの向上を図り、太平洋側からの本道路の利用者にとつて、日本海側に抜ける単なる通過点とならないように本市の魅力向上に努め、誘客や定住につなげていく。

また、防災面においても本道路は、日本の中心に位置し、日本海側と太平洋側をつなぐ国土東西軸の要として、国民の生命と財産を守る国土強靱化を推進する上で真に必要な道路であり、本市での救援活動の拠点となる防災・配送拠点の施設の整備も含め、一日も早い整備に向け、今後とも国に強く要望していきたい。

風疹ワクチン接種補助は

国、県の動向を見極める。市単独では行わない

※現在、風疹抗体検査で陰性であった妊婦と同居する者（23歳以上）の予防接種費用を、一部助成することとなりました。



石塚 淳子 議員

問 予防接種を受けたことのない方や1回しか受けていない方など、抗体がない方全員が予防接種を受けることが望ましいと思う。風疹ワクチン接種補助についての見解は。

答 国ではワクチン接種を呼び掛けているところである。本市においても、婚姻届を提出に来られた方に、チラシを配布するとともに、市のホームページに掲載するなど風疹の予防接種の啓発に努めている。なお、任意で受ける予防接種の補助については、国、県の動向を見極める必要があり、現在のところ市単独では考えていない。

新風おおの

問 本年4月より施行された障害者優先調達推進法の方針は。

答 市内の障害者就労施設などが提供可能な物品などの調達を推進することとし、発注目標額を102万6000円とした。

問 特別職の給与を減額している市があるが見解は。

答 平成19年3月の条例改正で、市長は10割、副市長は7割、教育長は5割の削減をしている。今回の期間を限定した特別職の給与の削減は行わない。



鳩ヶ湯温泉

アベノミクスで市民の暮らしと経済は 打撃を受けるのでは

本市においては景気が上向き
賃上げに結び付く状況には至っていない



日本共産党・大野市議員
浦井 智治 議員

- 問** 安倍政権の経済対策で、果たしてデフレ不況から脱却することができるとか。アベノミクスの3本の矢は①物価上昇で暮らしと営業に打撃を与える②不要不急の公共事業に10年間で200兆円も使う③成長戦略で労働法制の改悪が行われるなど、投機とバブル、財政難等、庶民生活には打撃を与えるのではないかと。アベノミクスといわれる国の経済対策は、全国的には一部の企業で業績の回復が見込まれ、賃上げに踏み切った事例があるが、本市においては中小企業が多く、景気が上向き、賃上げに結び付く状況にはまだ至っていない。
- 答** 税と社会保障の一体改革で消費税増税と社会保障の大改悪が強行される。消費税増税、年少扶養控除廃止、復興税、年金・医療・介護など福祉の改悪で、年収3000万円、4人家族で年間24万円、年収500万円の世帯で31万円の負担増になると試算されている。一体改革による市内世帯の負担増は、また、物価上昇が与える家計への影響は、
- 問** 昨年11月に政府が試算したが、大野市内の世帯についても同様の負担増になる。物価上昇による家計への影響については試算が困難である。
- 答** 大野市では地方消費税交付金を基に試算して、勝山市民の消費税負担増は23億円と答えている。
- 問** 大野市民の消費税負担増は幾らか。
- 答** 大野市が県を通じて交付されている地方消費税交付金は3億3000万円、これは国が徴収している5割の消費税のうち0.5割にあたる。
- 問** 勝山市の試算が正確かは分からない。

一般質問

「市民の生命と財産を守る」とは、人口減少をとめ、 自主財源を増やすことと考えるが、市長の考えは

災害や医療に対する体制を整備し、
地域社会で支えあう地域福祉の推進に取り組む



双葉会
高岡 和行 議員

- 問** 私は、市民の生命を守るということ、本市の人口を減らさないことであり、財産を守るといふことは、税の使い道を明確にし、自主財源を増やすことと考える。市長は、市民の「生命と財産を守る」ことをどう捉えているのか。
- 答** 市民が安全で安心して暮らすことができるよう取り組みを進めてきており、今後も災害や医療における緊急時の体制を整えていく。さらに少子化、高齢化が進む中、高齢者と障害者の自立や子育てを社会全体で支えあう地域福祉の推進についても、継続して取り組みたい。
- 問** 医療・福祉・介護について、施策とその対象人数の推移はどうか。
- 答** 居宅・施設介護・地域密着型サービス等があり、対象人数は開始当初より大幅に増えている。
- 問** 介護保険料が、発足当時から倍近くになっている。来年4月から消費税率8割へ引き上げが決まっているが、そのうち何割が介護に回るのか。
- 答** 政府から介護にどれだけ回されるかという提示もなく、準備基金も底をついており、制度継続のため国に対し強く要望している。
- 問** 本市の収税状況は。
- 答** 徴収率は上がり、滞納額も減ってきている。
- 問** 徴収しなければならぬ税額が下がっているからパーセンテージが上がっているだけで、未納欠損は変わっていないのでは。
- 答** 調定額自体も5年前より4億円ほど下がっており、厳しい状態である。
- 問** 医療の充実ということだが、福井社会保険病院における産科・小児科の充実はどうか。
- 答** 現在、出産できる状態にまでは至っていない。

大野市公共施設再編計画の 策定状況と課題は

大野市公共施設334カ所の再編計画の見直しは
本年10月末までに



公明党
藤堂 勝義 議員

問 公共施設再編計画の策定状況と課題は。

答 市では全ての公共施設の現状と課題を整理し、公共施設再編方針を本年3月に策定した。副市長が総理する部長会議に諮るとともに、必要に応じて案件ごとに担当部課長と協議する。また、取り組みを進める際は、住民や利用団体等の意見を聞き、案を取りまとめた段階で議会に報告し意見を伺い、本年10月末までに策定。

問 建設業の再生に係る設計労務単価の引き上げの市財政上の影響と社会保険の加入状況は。

答 国より平成25年度公共工事設計労務単価の特例措置が公表され県より通知があり、市においても準備を進めている。平成24年度労務単価を用いて積算された工事は、契約約款に基づき契約相手方から協議請求があり協議が整った場合、平成25年度労務単価に基づく契約変更が可能となる。市の影響として、土木工事の対象となる労務単価の上昇率は2から4割、建築工事も7月15日以降、同様のアツプ見込み。社会保険の加入状況は、市に建設工事等競争入札参加資格審査を申請した183社全ての事業所が加入。

問 自治体災害協定締結に係る基本的考え方は。

答 市が災害時相互応援協定を締結している自治体は、姉妹都市、友好交流市、観光交流市等。また、平成24年度には、震災や豪雨災害等に備えるため高浜町、三重県尾鷲市と締結。今後は、有効な復興対策を講じるため、提携先を遠隔地に求めて複数の選択肢を持つことが重要と考え、意を同じくする自治体と災害協定の締結を進めたい。

「子ども子育て支援新制度」への 大野市の対応は

子育て当事者などの意見を十分に反映させるとともに、
今後「子ども子育て会議」を設置する



新風おおの
梅林 厚子 議員

問 国は平成27年度施行「子ども子育て新制度」に向けて「子ども子育て会議」を開催している。本市における「子ども子育て支援計画」をどのように進めていくのか。

答 国の基本指針に基づき作成する「子ども子育て支援計画」には、子育て当事者などの意見を十分に反映させる。国の基本計画が明確になった時点で大野市においても「子ども子育て会議」を設置する。

問 「あつたかこそだて・夢プラン」に掲げられた「各種医療費助成」における医療費の窓口支払い廃止体制への検討は。

答 他市からも窓口支払い廃止の要望が出ており、検討されているが、県全体としての動きがない。

問 高齢出産に対する支援策は。

答 妊娠、出産等の支援があり、特段高齢出産に

問 国は平成27年度施行「子ども子育て新制度」に向けて「子ども子育て会議」を開催している。本市における「子ども子育て支援計画」をどのように進めていくのか。

答 国の基本指針に基づき作成する「子ども子育て支援計画」には、子育て当事者などの意見を十分に反映させる。国の基本計画が明確になった時点で大野市においても「子ども子育て会議」を設置する。

問 「あつたかこそだて・夢プラン」に掲げられた「各種医療費助成」における医療費の窓口支払い廃止体制への検討は。

答 他市からも窓口支払い廃止の要望が出ており、検討されているが、県全体としての動きがない。

問 高齢出産に対する支援策は。

答 妊娠、出産等の支援があり、特段高齢出産に



結とびあ入口の七夕飾り

「公共施設再編計画」の作成は 「再編方針」の公開の上で

地域住民・関係団体の理解と協力を得る



日本共産党・大野市議員団

榮 正夫 議員

一般質問

問 公共施設の再編方針については、施設の整理・合理化のみでなく、再編方針による自治体の展望と役割を明確にすることが大切ではないか。

答 334施設のうち行政財産が323施設、普通財産が11施設、地方自治法第244条にいう「公の施設」は、行政財産のうち252施設としている。

公共施設の再編計画については、人口・財政状況・地域の均衡化等を考慮し、適正な配置となるよう、総合的かつ計画的に見直すことや、利用者の皆さまの理解を得ながら、今後のまちづくりとの整合性を図ることなどを基本的な考え方としている。

計画をまとめた段階では、広報・ホームページで周知していききたいと考えている。

問 今回の地方公務員の給与の削減は、極めて不合理であるが、県下9市の中で、特に給与と期末手当の両方を削減する自治体は大野市とあわら市、また三役に削減が及ばないのは大野市と坂井市であり、職員いじめが先行しているのではないか。

答 この条例案はラスパイレース指数を100にする措置である。

今回の国の要請に応えるため、職員労働組合とも協議した。また平成18年に市長に就任した時点で、自らが給与を削減する意味で、1割カットをした経緯もあり、職員の理解を得られたものと思う。

※ラスパイレース指数とは、国家公務員の平均給与額を100として算出した指数。

議 会 日 誌

◆5月

- 1日 福井県市議会議長会定期総会(勝山市)
- 13日・14日 中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会要望活動
(近畿地方整備局、国土交通省ほか)
- 22日 全国市議会議長会第89回定期総会(東京都)
- 23日 議会等改革推進特別委員会作業部会
- 27日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会、議会等改革推進特別委員会
- 28日～30日 産経建設常任委員会視察研修
(栃木県足利市・宇都宮市・日光市、埼玉県川越市)

◆6月

- 3日～20日 第384回定例市議会
- 4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会(東京都)

◆7月

- 11日 全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・定期総会(福島県南会津町)
- 16日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会定期総会(東京都)
- 26日 全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)

◆8月

- 5日 福井県市議会議長会定期総会
- 6日・7日 議会等改革推進特別委員会視察研修
(長野県佐久市・松本市)

会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名(押印必要)
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

(0779-66-1111 内線253)

平成25年6月 第384回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議決結果	議員名(議席番号順)																		
			山崎利昭	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	前田政美	石塚淳子	宮澤秀樹	川端義秀	松原啓治	藤堂勝義	高岡和行	兼井大	島口敏榮	浦井智治	本田章	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提出議案	43 平成25年度大野市一般会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44 大野市一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45 休日急患診療所整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46 大野市庁舎整備工事(その1)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 大野市庁舎整備工事(その2)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度大野市一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 専決処分の承認を求めることについて(大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50 専決処分の承認を求めることについて(大野市過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51 専決処分の承認を求めることについて(大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
52 固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市会案	2 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)から食とくらし・いのちを守る意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 食料・農業・農村の発展に向けた意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	3 年金2.5%の削減中止を求める請願	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	
	3 TPPから食とくらし・いのちを守る陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
陳情	4 食料・農業・農村の発展に向けた陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
	5 有害鳥獣等による農作物被害対策に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	

(議案に賛成○、反対×。欠席、除斥等による不参加「-」 議長(松原啓治氏)は採決に加わらないので「/」で表示。)

請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

請願・陳情

▼年金2.5%の削減中止をを求める請願

○請願者

全日本年金者組合

福井県本部

委員長 山野 寿一

○紹介議員

榮 正夫 議員

○審議結果 不採択

▼TPPから食とくらし・いのちを守る陳情

○陳情者

テラル越前農業協同組合

代表理事組合長

松田義一ほか1名

○審査結果 採択

▼食料・農業・農村の発展に向けた陳情

○陳情者

テラル越前農業協同組合

代表理事組合長

松田義一ほか1名

○審査結果 採択

▼有害鳥獣等による農作物被害対策に関する陳情書

○陳情者

福井県農政連 大野支部

支部長 岡出善雄

○審査結果 採択

人事案件

▼固定資産評価員の選任

新たに山田一郎氏(清瀧)を選任することに同意しました。

意見書

▼環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)から食とくらし・いのちを守る意見書

TPP参加11カ国との交渉により収集した詳細な情報を開示し、広範な国民的議論を行うことや、食の安全・安心に関する規制措置を講じること、また農業の多面的機能の保全対策を講じることなどを政府関係機関へ求めるものです。

▼食料・農業・農村の発展に向けた意見書

戸別所得補償制度における基礎部分の維持と制度の恒久化を図ることや、集落営農組織・法人組織の育成と中山間地域の環境整備を図ることなどを政府関係機関へ求めるものです。

常任委員会審査 Q&A

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

民生環境

婚活力ステッパアップ

セミナー事業を

ビジネスチャンスに

問 婚活力ステッパアップセミナー事業に市内民間事業者や青年団体を巻き込み、中心市街地活性化やビジネスチャンスにつなげられないか。

答 商工会議所には協力を要請している。また、各種団体にも事業をPRしているところであり、さまざまなアイデアを歓迎する。

下水道工事における

湧水対策は

問 湧水地帯で下水道工事を行う場合、湧き出た地下水を地下に浸透させる方法がないのか。

答 大野市の重要な財産である地下水には、格段の配慮が必要ではある

産経建設

木材工芸品加工施設の

利用状況は

問 和泉地区にある木材工芸品加工施設の入り込み者数は。

が、地下浸透を図る土地の確保など、現実的には難しい。

10月、11月の地下水位の低い時期に工事を行うことにより地下水への影響を最小限に留めたい。

生活保護受給基準

ボーダーライン者の対応は

問 生活保護受給基準のボーダーラインにある方への市としての対応は。

答 まずは相談窓口で話を伺いたい。

予防接種の副作用の

状況は

問 全国的には予防接種の副作用が問題になっているが、大野市での状況は。

答 これまでのところ、問題となるような症状は報告されていない。

小水力等発電施設

導入調査とは

問 補正予算に計上されている小水力等発電施設導入に係る調査はどこでやるのか。

答 塚原野、真名川頭首工、大井明後幹線用水の3カ所において、小水力発電導入に必要な概略調査設計を行い、その可能性を検証するものである。

問 実際、設置する場合も国から補助があるのか。

答 今回の調査は、100軒の補助をもらい市が行う。実際に発電施設を設置する場合、事業主体は、土地改良区ということになり、設置の可能性が出てくれば、農水省の補助金を活用していきたいと考えている。

改正道路法の内容は

市の道路等の補修

問 市の道路等の補修などを国が代行できるようにになったと聞かすが、その内容は。

答 市町村において道路等の修繕がいきわたっていない状況から、老朽化対策や防災強化の観点から国が代行できるよう道路法が改正されたと聞き及んでいいる。今後、正確な情報を得て対応していきたい。

総務文教

スポーツ振興くじ

助成金とは

問 越前大野名水マラソン開催事業の財源であるスポーツ振興くじ

助成金は単年度の助成金なのか。

また、なぜ大会が終わってから補正したのか

答 スポーツ振興センターが実施主体で、最大3年間の助成金で本年度が最終年度である。

補正対応とした理由は、実施主体のスポーツ振興センターが、東北地方へ財源を分けたいと考えていたため、当初予算の段階では、はっきりとしたことが言えないことだったので、交付決定を受けた段階で補正することにした。

らうために、読書感想文コンクールなど、成育期に読書をさせるため、どのような啓蒙活動や普及活動を行っているのか。

答 何十年来、小学校、中学校で読書感想文コンクールを続けている。

そして校内審査をして、各学校から優秀な作品を集め、さらに優秀な作品を選考している。その中で選ばれた作品は、県の読書感想文コンクールに推薦している。

問 広報おのの発行過程は

するまでの工程はどうなっているのか。

答 記事を発行月の前々月末までに各課から集めて校正案を作り、発行月の前月の第1週末に原稿案を作成し、各課が内容を確認し、発行月の2週間前に最終的な調整をして印刷にかかる。

1週前に納品を受け、毎月配布している。



第49回越前大野名水マラソン

読書推進の活動状況は

問 就学前児童と低学年児童に本を読んでも

常任委員会報告

総務文教

公共施設の再編は
関係団体や利用者等の
意見も拝聴して

現在、公共施設再編方針に基づき、市庁内において施設の在り方について詰め協議を行っている。

今後は、必要に応じて関係団体や利用者、地域住民の意見も拝聴し、行政改革戦略会議、行政改革推進委員会などで内容を検証し、本部会議で案として取りまとめ、議会に対しても説明を行い、本年10月末までに再編計画を取りまとめいくとの説明があった。

野外学習では子どもたちに
けがのないよう

平成25年度一般会計補正予算案に、小学生が地域にある里地里山において、生物の多様性を観察したりして、環境保全に関する活動を行う経費が計上されている。

自然と人との関わり的重要性を学習する大変良い機会であるので、子どもたちに事故のないよう、配慮されたい。

学校給食の米炊飯は
地元業者を優先して

大野市内の学校で米飯給食を開始したところ、市内で米の炊飯を受託できる業者がなかったことから、現在も市外業者が一部炊飯を請け負っているが、市内業者の受け入れ能力も勘案して、よく協議を行い、市内業者に優先して委託していくよう取り組まれない。

産経建設

新たな発想と
熱意を持つて

和泉地区の活性化の重要性は、かねてから一般質問や委員会等で申し述べられてきたがあまり状況が改善されていない。こうした閉塞感を打開するためには、新たな発想と熱意をもって、本地区の特色を生かした対策

を打ち出し、それに対する集中的な財政投資が必要なのではないか。地区の方々と十分に議論し、人口減少に歯止めが掛かり、地区の活性化につながるよう、支所と本庁とが一丸となって本地区の振興に取り組まれない。



和泉地区での九頭竜新緑まつり

本市農業の方向性と
戦略を示せ

本市農業の維持、存続のためには、小規模農家をどのように支援するのか、また活性化を図り、農業者の所得水準をどのように底上げするのかなどが課題である。魅力ある「越前おおの

型農業」の推進のため、本市農業の方向性と、明確な戦略を早急に示されたい。

平成大野屋と農林楽舎の
活動を再考すべき

平成大野屋と農林楽舎が行う事業に競合する部分があり、二重投資となっているのではないか。

両法人の活動方針を整理し、すみわけを明確にした上で、農林産物をはじめとした特産品のブランド化と情報発信に資する活動を効率よく展開されたい。また、平成大野屋については収支の均衡を図られたい。

民生環境

下水道事業は
第4期事業認可取得に
向け着々と

現在、下水道整備面積は第3期事業認可の485鈔のうち、93鈔にあたる450鈔が整備を完了しており、次期第4期の事業認可が

受けられるよう手続きを進めている。

この中で、汚水処理施設の規模は当初の計画より縮小しているが、過大施設に無駄な維持費を投じ、不使用部分の劣化を招くことのないよう、将来的な人口減を見込んで計画人口を精査し、汚水の流入量にに応じて無駄なく施設整備をされたい。

ラッピング列車のアイデアで
全国へ話題提供を

現在5両ある越美北線の車両のうち、既に3両がラッピング列車として運行しているが、来年度に残り2両をラッピングするにあたって、地元ゆかりの画家やデザイナーなどの人材の有効活用やアニメの人気キャラクターの利用、また道の駅九頭竜にある動く恐竜を絡めたストーリー展開ができないかなどの提案があった。

今後、市外、県外の方にも「見てみたい」「乗ってみたい」と思わせるような工夫を凝らした仕掛けづくりを期待する。



現在のラッピング電車

荒島保育園と富田幼稚園の
一元化の形式は

荒島保育園と富田幼稚園は、阪谷のさくらんぼ幼稚園と同じく「幼稚園」として富田幼稚園の園舎に荒島保育園が入る形で今年度に改修工事を行う。

これについて、「認定子ども園」の形式は採れないのかとの質問があった。

理事者からは、子ども子育て支援法が平成27年4月に施行されるため、今後、国から「認定子ども園」に関する具体的内容が示された時点であらためて検討したいとのこと。

特別委員会報告

中部縦貫自動車・国道158号整備促進

▼中部縦貫自動車道

永平寺大野道路福井北・大野間が、平成28年度に全線開通する見通しであるとして国土交通省近畿地方整備局が発表した。

また、勝山・大野間が3月24日に供用開始されたことにより上志比・勝山間の交通量が4倍になったとのことであり、既に物的、人的流通に大きな変化が表れてきている。

大野油坂道路の大野東・和泉間では、本年度は用地買収と設計が進められている。

今回、猛禽類調査のための環境アセスメントが行われるとの説明があったが、過去に環境アセスメントを理由に路線の確定が遅れた経緯があるため、化石・埋蔵文化財の調査等も含めて、事業の進捗に影響のないよう、対応をお願いしたい。

▼国道158号
境寺計石バイパスは、

引き続き測量調査が実施されており、予備設計を進め、地元設計協議の後、本年度は幅ぐい設置までを行う予定とのことである。

▼157号大野バイパス

菖蒲池交差点から吉交差点間で、片側二車線の工事が進められ、また、みつわの交差点付近の改良工事が行われている。

委員からは、ビュークラインおくえつ前の旧国道157号との合流地点において、逆走やUターンをする車が見受けられることや見通しが悪い所があるとの意見が述べられた。

理事者の説明によれば、合流地点のコンクリートブロックをガードレール等へ変更し、幅員を確保することや、一方通行の標識をより見やすくするなどの対策が検討されているとのことである。

議会等改革推進

3月定例会以降、4月30日、5月23日の2回、条例の骨格を作成するた

めの作業部会を開催し、「市長等との関係」「政策等形成過程の説明」「通年議会」「議会の議決事件」の項目について比較・検討を加え、作業部会案のとりまとめを行った。

5月27日には、特別委員会を開催し、作業部会から条文案の説明を受け、委員間で質疑や意見の調整を行い、その結果を各会派に持ち帰り、会派で協議を行った。その後、6月17日に特別委員会を再度開催し、「市長等との関係」「政策等形成過程の説明」については、成文化に到った。

「議会の議決事件」は理事者との協議の場を持ち、引き続き検討を続ける、「通年議会」については、時期尚早ということ、見送ることになった。

今後は、「質問」「発言の取消し勧告」「附帯決議の尊重」「請願・陳情の趣旨の聴取」「採択した請願・陳情への対応」「専決処分指定及び報告」の項目について、検討作業を進めたい。

要望活動

中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会が、5月13日、14日の両日、中部縦貫自動車道大野油坂道路の整備促進と、まるごと道の駅構想の核となる施設整備について、市長及び議長とともに、国土交通省及び近畿地方整備局をはじめ、福井県選出国会議員に対し要望活動を実施しました。

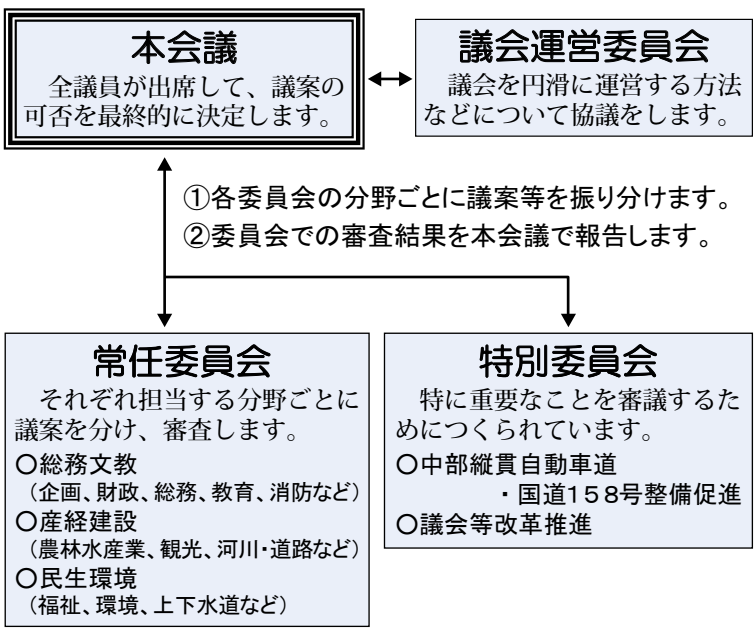
中部縦貫自動車道は、地域振興や産業経済の発展、災害時の緊急輸送、冬季における安全で安心な交通の確保のために真に必要な道路であり、本市にとって、まさに「生命の道」「生活の道」「希望の道」であることを強く訴えました。



山崎参議院副議長との会談

市議会の仕組み

市議会には、毎年必ず4回開かれる会議があり、これを「定例会」といいます。定例会は、おおむね3月・6月・9月・12月に開かれます。定例会中は、「本会議」と「委員会」が開催されます。本会議は、議員全員で構成される会議で、議案の可否を最終的に決定します。なお、議会の意思は、通常、出席議員の過半数で決定します。委員会とは、少数の議員で構成する会議で、市の幅広い事務を能率的に詳しく審査するためのものです。審査結果は本会議で報告されます。



委員会視察レポート

民生環境

4月22日から24日にかけて実施しました。

茨城県高萩市

わが国の高齢化率は23・3割で、世界最速で人口構成が逆ピラミッド型に変化しつつあります。高萩市においても、高齢化率は27・1割です。

高齢者への医療、福祉等が、決して裕福ではない財政を圧迫することが危惧されることから、これらを抑制する策として、お年寄りに生涯現役を貫いてもらおうと、昨年「生涯現役白書」を発行し、市民への啓発を進めるとともに、取り組みを全国に発信しています。

具体的には、各課横断的なプロジェクトチームを組織し事業の見直しや推進を図っているほか、平成22年には生涯現役推進条例を制定しています。

高萩市の目指すものは、高齢者が生き生きと暮らすことにより本人の尊厳保持、家族の負担軽減、財政の負担軽減の三

方よし社会の創出であると、市長自らが熱く語られました。

茨城県笠間市

笠間市社会福祉協議会で平成23年度から2年間実施した「いばらき子どもヘルパー派遣事業」を視察しました。この事業は、小学校4から6年生の児童を子どもヘルパーに任命して、高齢者の家庭に訪問し、話し相手やお手伝いボランティアをする事業です。

学校行事の合間をぬっての日程調整や、インフルエンザなどの感染防止対策などの苦労話、また高齢者側は家の中には他人を上げることが抵抗感があり、民生委員を通じて根気強く説得してもらったなどの苦労話をお聞きしました。

夢のみずうみ村

(千葉県浦安市)

ユニークな取り組みをしている介護保険サービスセンターとして、介護従事者から注目を集める施設です。階段の上り下りやクイズラリー形式の歩行訓練で村内(施設内)限定の通貨

「ユーメ」を稼ぎ、これを使ってカラオケやカジン、陶芸などを楽しむという仕組みです。施設内を案内してくれる方も、施設利用者でした。

ここに通うことでだんだん元気になっていくという、まさに夢の村だと感じました。



夢のみずうみ村施設内

厚生労働省少子化対策室

平成24年8月に成立した子ども・子育て三法を中心に国が推し進める少子化対策についてレクチャーを受けました。

質疑応答の中で、委員から国は待機児童の解消などを対策の中心に据えている感があるが、地方には地方の抱える問題が別にあることを強く訴えました。

産経建設

5月28日から30日にかけて実施しました。

栃木県足利市

第6次足利市総合計画後期基本計画の重要なプロジェクトの一つに位置付けられたシテイセールのスにぎわいプロジェクトは、観光客の増加やまちの魅力アピールなどを目的としています。

築150年の古民家を移築し、交流・活動・情報発信の拠点施設と位置付け、地区が主体となって、自然体験イベントや交流イベントを実施し、交流人口の拡大と滞在時間の延長を図っています。

また、産業振興サポートにぎわいプロジェクトとして、企業立地にも力を入れていきます。そのほか、市民に対して現金等を支給しているものを、市内の店舗に限定して使用できる「足利市金券」に切り替えて支給する「足利金券発行事業」は、市内の消費拡大と商業の活性化に寄与するものと考えられました。

栃木県宇都宮市

自転車のみち推進計画について研修しました。

本計画では、誰もが「安全に」「快適に」「楽しく」「健康とエコに」自転車が使えることを目標に掲げ、自転車走行空間の延長、自転車の駅の増設、レンタサイクル拠点の増設などに取り組んでいます。

ソフト面では、自転車ロードレースプロチームと連携した自転車教室やイベントの実施、市内企業と連携した自転車通勤の促進などが展開されています。

研修のあと、拠点施設の一つである宮サイクルステーションと駅前駐輪場を視察しました。



宮サイクルステーション施設内

栃木県日光市

日光市は、日光東照宮をはじめ、多くの観光資源を有していますが、日帰り客が増加傾向にあるとのことです。

滞在時間の延長には地域の魅力の連携とプラスアルファによる相乗効果が重要であると感じました。

埼玉県川越市

大都市川越市においても中心市街地における高齢化と後継者不足が課題となっているとのことです。

中心市街地においては歴史的・文化的地域と商業・業務集積地域と区分し、ハード・ソフト両面での事業が展開され、また両地域の連携にも力を入れていきます。各種イベントの効果的な開催をはじめ、90もの観光コースの設定や、アニメとスマートフォンを活用した取り組みにより、市街地の回遊性向上を図っています。

また、夜間観光の充実により滞在時間の延長にもつなげていきました。

大野市議会の議場紹介

議場の入口



議長席



議場の全体写真!



説明員席



説明員席



議員席



議員席



質問席



登壇席



傍聴席(見学できる場所)



○市議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、議場にお入りください。

次回の定例会は9月に予定されています。詳しい日程につきましては、広報おおのや市ホームページでご確認ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
(0779-66-1111 内線253)

○委員会の傍聴について

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。様式は、大野市ホームページからダウンロードできるほか、議会事務局にもご用意しています。

編集後記

先日、岩手県大槌町を訪問。1700人がじくなり、人口は4000人余りの減津波後の出火により、いまだご遺体が見つからない方も多い。

この壊滅的な町の状況下で、イトヨの生息を見つけた住民は希望の光を感じたという。しかし、ある女性が「住宅の基礎のみとなったわが家の一角の水たまりにイトヨが泳いでいるのを見たとき、母も父もここで死んだ。なんであんな(イトヨ)がここで生きているのと思った。」しかし、今はそのイトヨが愛おしくてたまらない...」と話を続けた。

もうすぐ旧盆を迎え、結の故郷元年にあたる大野の町も賑やかになるだろう。地方分権の時代に向けて、わが故郷大野の発展のため、ますます議会としての機能を発揮したい。

(座長 梅林厚子)



梅山 高井 智治
林厚子 利昭
梅林厚子 智治

議会だより編集委員会

※次回は、10月25日の発行を予定しています。